

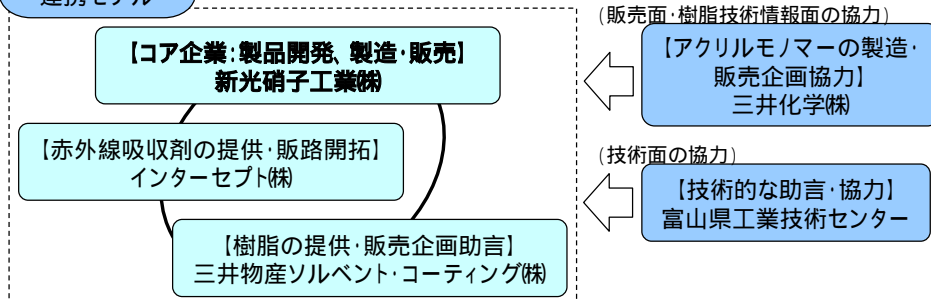
# 多機能を有する樹脂合わせガラスの製造販売事業 (新光硝子工業㈱)

平成19年 2月15日認定

## 事業概要

- ・無機系日射熱吸収剤を分散させたアクリル樹脂をガラスとポリカーボネートの間に注入し、重合硬化させた多機能性樹脂合わせガラスを製造・販売する事業。
- ・新光硝子工業㈱と三井物産ソルベント・コーティング㈱・三井化学㈱が開発を進めてきた多機能性樹脂合わせガラスに、インターセプト㈱が独自開発した日射熱(赤外線)吸収剤を添加することで、断熱性、耐衝撃性、安全・防犯性、防音性、などガラスに要求されるほとんどの機能を高度に備えた製品が完成。透明度が高く、厚みを抑制できるため既存のサッシに適用が可能。
- ・それぞれの連携体企業が有する販路をもとに、大手ハウスメーカー、設計事務所、ゼネコンやリフォーム業者といった住宅関連をはじめ、車両関係等の事業分野への販売拡大を目指す。

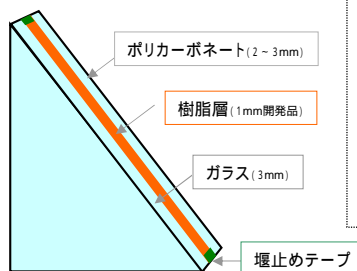
### 連携モデル



・ハウスメーカー・設計事務所等の住宅関連  
・車両等への販路拡大



総厚 6 ~ 7mmを実現!  
(既存サッシへの対応可能)



樹脂合わせガラス断面(イメージ)

### <製品の特長>

- ✓ 以下の項目について、高い性能を併せ持つ (= 従来にはない多機能合わせガラス)
  - ・断熱性
  - ・耐衝撃性
  - ・防音性
  - ・紫外線カット率
  - ・赤外線吸収
  - ・防犯性
  - ・省エネルギー性
- ✓ 厚みが薄く既存サッシに組み込み可能で経済的(特殊なサッシは必要ない)

## 組成の革新性

- ・合わせガラスの高度な製造技術を持つコア企業、熱線吸収剤の特許を申請中(公開中)であり、独自の事業展開を図ってきた企業、さらに樹脂に関する情報と技術を提供する企業のそれぞれの固有経営資源が組み合わせあって、実現した連携体。

## 事業の実現性

- ・2005年の板硝子協会の統計では、合わせガラスが1600万㎡、複層ガラスが1400万㎡の生産高。合せて3000万㎡もの市場であり、年率10%以上の増加傾向にある。
- ・共同住宅の1Fフロアや低層エリア、ならびに西日の強く当たる窓面等、日射熱対策、断熱性、防犯安全性、防音性等が強く要求される部位や建築物にターゲットを絞り、特化した市場ジャンルを対象とした営業展開を図る。

## ビジネスモデルの革新性

- ・これまで市場に出ている機能性ガラスが単一の機能に特化したものであるのに対し、断熱性、省エネ性、安全性、防犯性、耐候性、透明性といった、いずれの性能も高次元で満たす多機能を有する製品。